

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)北海道福祉事業協力会	代表者	八戸 翼	法人・事業所の特徴	個々の利用者の生活の場を出来る限り以前の生活のまま出来る様、通い・訪問に力を入れて日々支援している。また、通い・泊まり・訪問は介護者不在などの緊急時には随時対応できるよう考えている。職員・利用者共にアットホームな雰囲気となっている。
事業所名	『さくら丘』手稲	管理者	八戸 翼		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	0人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	2. 本人の目標をしっかりと理解して、支援を行う為の再点検を行う 3. 声にならない声をチームで言語化する為、日々の記録内容の見直しと共有・「～したい」へつなげる為の情報収集を行い本人の目標へ紐づけていける様、チームでの情報の共有と情報収集手段の再点検を行う。	ケアプランの確認、普段の会話からの情報等を職員間で共有し、ご本人の「～したい」に近づけるように動いた。 沢山話を聞き、よく様子を見て、気持ちや体調の変化に気付いたら都度報告・共有し、即時対応し情報収集を行った。	コロナ禍の為聞き取りまでは出来ていない。	1. 初期支援 初期の関わり時、情報量の少ない利用者情報に関して、それぞれが関わる場面に応じ、出来るだけ早期に情報収集が出来る様、工夫を行っている。
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	今年度は、事業所へ訪れることがコロナウイルスの為出来なかった。	なし
C. 事業所と地域のかかわり	なし	密を避ける為、行事等は最小限となり、かかわりを持つ機会を設ける事は出来なかった。	町内会行事も中止となり、関わる機会は持てなかった。	なし
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし	なし	議事録見る限りでは、感染症予防の為、地域には出れなかったと認識しています。	なし
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍でのあり方を模索する	運営推進会議の再開がもっと早い時期に行えると想定していたが、現在に至り運営推進会議を活かした取り組みとしては、出来ていない。	運営推進会議が、書面での開催だった為、なかなか難しかった。	感染症対策の徹底とコロナの状況を見ながら、通常に戻していくよう進めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	なし	なし	なし	なし